

富山県高等学校教育研究会
情報部会長 谷内 祥訓

富山県高等学校教育研究会情報部会の会員各位におかれましては、日頃から本県高等学校情報教育ならびに本部会活動にご尽力をいただいていることに対し、心から感謝を申し上げます。また、本部会の事業に際して富山県教育委員会県立学校課を始め、関係機関からもご指導をいただいていることに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、共通教科情報は前回の学習指導要領改訂で、社会で急速に進展する情報化に対応して、情報モラル、情報リテラシー、情報セキュリティなど、高校生の段階で学ぶべき内容を押さえながら学習指導にあたってきたところです。

今回の改訂で、共通教科情報については、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てるための学習・指導方法及び評価方法の工夫や改善を図ることが大切であると考えます。

他の教科におきましても、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングが求められていますが、教科情報においては、

1点目として、問題の発見や解決の過程をとおして、生徒の主体的・対話的で深い学びの中での思考力、判断力、表現力といった力の育成を行う。

2点目として、多様な見方を育てるために、ペア学習やグループ学習、発表などの活動により、言語活動の充実に努める。

3点目として、情報モラルの育成に配慮する。

4点目として、ペーパーテストのみに偏らない多様な方法を用いる。

5点目として、観点別学習状況の評価について ICT の活用も研究するなどとなっております。

ところで、情報教育は幅広く小・中・高等学校の発達段階に応じ、系統性をもって展開されるべきものであり、小・中・高等学校の教員はそれぞれ異なる校種の情報教育の内容を理解するなど、校種間の連携を図ることも重要であると考えます。

高教研情報部会においても、こうした異校種の状況に対しアンテナを高くしながら理解することにより児童生徒の校種間の接続が一層円滑になると考えております。

今年度11月に実施した研究発表大会では滑川高校 板川 和則先生、志貴野高校 柴田 良人先生の研究発表、高岡高校 多賀 誠志先生、富山高校 林 秀治先生の報告、文部科学省の鹿野 利春教科調査官からの講演が行われ、大変有意義な研修となりました。心から感謝を申し上げます。これらの内容は今後の各学校での指導改善に生かすなど、情報教育の一層の充実に図るための糸口になることを期待しております。

終わりに、関係各位におかれましては、本部会の一層の充実、発展のためのご理解、ご協力を引き続きお願い申し上げます。